

ふりがな 氏名		性別		生年月日	平成 年 月 日
連絡先	保護者住所			連絡先1	()
				連絡先1	()
在籍園・所、在籍校		担 任			
	園・所	組担任	組担任	組担任	
	小学校	1年担任	2年担任	3年担任	
		4年担任	5年担任	6年担任	
	中学校	1年担任	2年担任	3年担任	
	高校	1年担任	2年担任	3年担任	

(児童生徒の実態)

	生活面	学習面	健康・運動面
子供の困っている状態	<input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性 <input type="checkbox"/> 衝動性 <input type="checkbox"/> 人への関わり <input type="checkbox"/> 社会性 <input type="checkbox"/> 言葉の発達 <input type="checkbox"/> こだわり <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 姿勢保持 <input type="checkbox"/> 体全体の動き <input type="checkbox"/> 手先の動き <input type="checkbox"/> バランス <input type="checkbox"/> その他
	※ 上でチェックした項目について詳しくかきます。		
検査の記録	検査の種類	検査日	検査結果
好きなこと、得意なこと、興味・関心など			

将 来 像			
目 指 す 児 童 生 徒 像			
主 な 合 理 的 配 慮 ※ 【合理的配慮の観点】を明記すること (例: ①-1-1 など)			
具 体 的 な 指 導	どのような場面で	だれが	どのような指導を行うかなど
連 携 機 関	連携機関名	連絡相手、連絡方法	支援内容や所見など
指 導 の 記 録			
備 考			

私は、以上の内容を確認しました。

平成 年 月 日

本人 (保護者)

作成者

校長

印

印

印

【学校における合理的配慮の観点 (3観点11項目)】

①教育内容・方法

①-1 教育内容

①-1-1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮

①-1-2 学習内容の変更・調整

①-2 教育方法

①-2-1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮

①-2-2 学習機会や体験の確保

①-2-3 心理面・健康面の配慮

②支援体制

②-1 専門性のある指導体制の整備

②-2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮

②-3 災害時等の支援体制の整備

③施設・設備

③-1 校内環境のバリアフリー化

③-2 発達、障害の状態及び特性等にに応じた指導ができる施設・設備の配慮

③-3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮

※ 情報管理を徹底すること

平成28年4月からの「障害者差別解消法」の施行に伴い、学校等の公的機関においては合理的配慮の提供が法的義務となります。その際、合理的配慮の内容は個別の教育支援計画に明記することが重要であり、また、個別の指導計画にも活用されることが望ましいとされています。さらに、定期的に教育相談や個別の教育支援計画に基づく関係者による会議等を行う中で、必要に応じて合理的配慮を見直していくことが適当であるとされています。

中央教育審議会初等中等教育分科会（H24年7月23日）

「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）より

在籍園・所、在籍校	担任	組担任	組担任
		組担任	組担任
		2年担任	3年担任
	4年担任	5年担任	6年担任
中学校		2年担任	3年担任
		2年担任	3年担任

日常生活を振り返りながら
該当箇所にチェックを入れます。

「はじめようADHD
の子どもへの支援」
P45参照

(児童生徒の実態)

生活面	学習面	健康・運動面
<input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性 <input type="checkbox"/> 衝動性 <input type="checkbox"/> 人への関わり <input type="checkbox"/> 社会性 <input type="checkbox"/> 言葉の発達 <input type="checkbox"/> こだわり <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 姿勢保持 <input type="checkbox"/> 体全体の動き <input type="checkbox"/> 手先の動き <input type="checkbox"/> バランス <input type="checkbox"/> その他
子供の困っている状態	「はじめよう自閉症の子どもへの支援」 P83参照	「はじめようLD児への支援」 P53表参照
検査の種類	検査日	検査結果
検査の記録	検査の種類、検査日、検査の結果から、 指導に生かしたい内容を記入します。	
好きなこと、得意なこと、興味・関心など		
行動や認知等の面から、指導に生かす ことのできるよさを記入します。		

チェックした項目について具体的に文章で記入します。

将来像			
将来の生活について、本人（保護者）の希望や願いなどを基に記入します。			
目指す児童生徒像			
将来像に向かって、在学中に身に付けさせたい力について焦点化して記入します。			
主な合理的配慮 ※ 【合理的配慮の観点】を明記すること（例：①-1-1など）			
【合理的配慮の観点】を参考に多面的かつ具体的に検討し、優先事項を記入します。			
具体的な指導	どのような場面で	だれが	どのような指導を行うかなど
	どのような場面で、だれが、どのような指導を行うかなど、学校全体で組織的に対応できるように、役割分担や指導・支援・配慮について記入します。		
連携機関	連携機関名	連絡相手、連絡方法	支援内容や所見など
	連絡機関名や連絡相手、連絡方法、支援内容、所見など、医療機関、福祉機関に係る情報を記入します。		
指導の記録	教育的支援などの成果や課題、諸検査の結果など次年度への引継事項を記入します。		
備考	災害時への対応や継続協議事項など、上述の項目以外で必要な事項などを記入します。		

私は、学校全体で組織的に対応できるように、校内委員会等を通して関係者の共通理解を図るとともに、その内容について校長に確認してもらいます。 印
校長 印

【学校における合理的配慮の観点（3観点11項目）】

<p>①教育内容・方法</p> <p>① 「指導の方針」を立てる際、「保護者からの情報」や「校内関係者の助言」、「連携機関の助言」、「巡回相談」、「県教育センター特別支援教育関連研究紀要」などを参考にすることができます。</p>	<p>②支援体制</p> <p>② 「合理的配慮」を決める際、全ての「学校における合理的配慮の観点（3観点11項目）」から検討することで、多面的かつ具体的に考えることができます。</p> <p>③施設・設備の配慮</p> <p>③-3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮</p>
--	--

※ 情報管理を徹底すること

〔様式例〕**記入例**①

個別の教育支援計画

(合理的配慮対応版)

平成 ○年 ○月 作成

ふりがな 氏名	□□□□ □□□ ○○ ○○	性別 男	生年月日	平成 ○年 ○月 ○日
連絡先	保護者住所 ○○市○○・・・	連絡先1	△△△ (△△△) △△△△	
		連絡先1	□□□ (□□□□) □□□□	
在籍園・所、在籍校	担 任			
○○園・所	組担任	組担任	○○○○	組担任 ○○○○
○○立○○小学校	1年担任 ○○○○	2年担任 ○○○○	3年担任 ○○○○	
	4年担任 ○○○○	5年担任 ○○○○	6年担任 ○○○○	
○○立○○中学校	1年担任 ○○○○	2年担任	3年担任	
	高 校	1年担任	2年担任	3年担任

(児童生徒の実態)

	生活面	学習面	健康・運動面
子供の困っている状態	<input checked="" type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性 <input type="checkbox"/> 衝動性 <input checked="" type="checkbox"/> 人への関わり <input checked="" type="checkbox"/> 社会性 <input type="checkbox"/> 言葉の発達 <input type="checkbox"/> こだわり <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input checked="" type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> その他	<input type="checkbox"/> 姿勢保持 <input type="checkbox"/> 体全体の動き <input type="checkbox"/> 手先の動き <input type="checkbox"/> バランス <input type="checkbox"/> その他
	※ 上でチェックした項目について詳しく書きます。 ・ADHDの診断有り。 ・学習中に集中できない様子が顕著であり、忘れ物も多い。 ・学級の雰囲気に関係なく話し出すことも多い。 ・友達に注意されると、言い返したり物にあたったりするなどトラブルが多い。 ・ノートの枠の中に書く、時間内にノートを仕上げるなどの書くことが苦手である。		
検査の記録	検査の種類	検査日	検査結果
	WISC-IV	0年0月0日	・聴覚情報を記憶したり「書く」などの操作を素早く処理したりすることが苦手である。
好きなこと、得意なこと、興味・関心など			
・部活動(○○部)に熱心に取り組んでいる。 ・科学雑誌に興味があり、クラスでも一番熱心に読んでいる。			

※ 情報管理を徹底すること

〔様式例2〕－②

(指導の方針)

将来像			
<ul style="list-style-type: none"> ・将来、仕事などに落ち着いて取り組んだり、周囲の人々と円滑にコミュニケーションを図ったりするなど生活力を身に付け自立した生活をしてほしい。 			
目指す児童生徒像			
<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いて学習できるようになるとともに、目指す進路実現のための基礎的な学力を身に付けている。 ・先生や友達の助言などを受け入れ、自分の考えを落ち着いて伝えることができる。 			
主な合理的配慮 ※ 【合理的配慮の観点】を明記すること (例：①－1－1など)			
<ul style="list-style-type: none"> ・困難さの顕著な集中力について、活動の手順などの見通しをもたせ、前回からの伸びやあきらめずにやり遂げたことなどを認めるようにする。(①－1－1) ・説明や指示などについては、聴覚情報を精選し提供する量を調整したり、できるだけ視覚情報も合わせて提供したりするなど工夫して伝える。(①－2－1) 			
具体的な指導	どのような場面で	だれが	どのような指導を行うかなど
	学校行事	学年部	<ul style="list-style-type: none"> ・ルールなどについては活動前に説明する場を設け、全体への説明後、必ず個別に確認する。
	各教科等	教科担任	<ul style="list-style-type: none"> ・板書の構造化や電子黒板の活用、絵図の提示などできるだけ視覚情報の工夫をする。
	家庭学習や持参物	保護者	<ul style="list-style-type: none"> ・担任からのメモを確認し促すとともに、書くことに時間がかかる場合は、保護者が量を調整する。
連携機関	連携機関名	連絡方法、連絡相手	支援内容や所見など
	〇〇教育センター	臨床心理士 (〇〇様) △△△ (△△△) △△△△	<ul style="list-style-type: none"> ・視覚情報優位である。ルールなどを明確にし肯定的評価を返すことで継続して取り組ませる。
	〇〇クリニック	医師 (〇〇様) □□□ (□□□) □□□□	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校4年生まで服薬していた。現在3ヶ月1回程度、定期的に受診している。
指導の記録	<ul style="list-style-type: none"> ・学習において、私語が減り落ち着いて取り組む時間が伸びた (現在30～40分程度)。また、学力も伸びてきている。(年度初めから約8ポイント増加) 見通しをもたせること、視覚情報を合せて提示することは効果がある。 ・学校行事や生活場面において、激しく拒否することはほとんどなくなった。また、友達とトラブルになることも減ってきている (現在、2～3週間1回程度)。 ・授業以外の日常生活において、些細なことでトラブルがおきる場合があり、自分の気持ちや考えを適切に伝えるなどのソーシャルスキルを高める必要がある。 		
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・災害時等の対応については、「災害時等対応マニュアル」を参照。 ・支援員については、継続協議中。 		

私は、以上の内容を確認しました。

平成〇年〇月〇日

本人 (保護者)

作成者

校長

〇〇 〇〇

△△ △△

□□ □□

印

印

印

【学校における合理的配慮の観点 (3観点11項目)】

<p>①教育内容・方法</p> <p>①－1 教育内容</p> <p>①－1－1 学習上又は生活上の困難を改善・克服するための配慮</p> <p>①－1－2 学習内容の変更・調整</p> <p>①－2 教育方法</p> <p>①－2－1 情報・コミュニケーション及び教材の配慮</p> <p>①－2－2 学習機会や体験の確保</p> <p>①－2－3 心理面・健康面の配慮⑥</p>	<p>②支援体制</p> <p>②－1 専門性のある指導体制の整備</p> <p>②－2 幼児児童生徒、教職員、保護者、地域の理解啓発を図るための配慮</p> <p>②－3 災害時等の支援体制の整備</p> <p>③施設・設備</p> <p>③－1 校内環境のバリアフリー化</p> <p>③－2 発達、障害の状態及び特性等に応じた指導ができる施設・設備の配慮</p> <p>③－3 災害時等への対応に必要な施設・設備の配慮</p>
--	--

※ 本事例は、国立特別支援教育総合研究所のインクルーシブ教育システム構築支援データベースの事例等をもとに作成したものです。

※ **情報管理を徹底すること**